

# SEO

---

## 基礎講座

Search Engine Optimization

SEO（検索エンジン最適化）を正しく理解し、  
検索エンジンに好まれるサイトを制作することが  
サイト運営の基本です。

まずは基本の  
5つのポイント!!

1. タイトルを適切にする
2. ディスクリプションを入力する
3. キーワード率を適切にする
4. 優良な被リンクを増やす
5. ページ数（インデックス数）を増やす

# 1

## タイトルを適切にする

タイトルの中にページ上で重要なキーワードを入れましょう。キーワードの入れすぎや連呼はペナルティの対象になる事もあります。単語の羅列ではなく30文字以内で自然な文章になるようにしましょう。

### タイトルってどこ？

大阪府で屋根工事やさんを探しているユーザーが「大阪 屋根工事」というキーワードで検索します。



この時タイトル(赤枠部分)に「大阪 屋根工事」というキーワードが含まれていると、より検索結果に表示されやすくなります。

#### ポイント

##### 1

##### 重要なキーワードほど前に置きましょう

地域名や工事名、屋根関連のキーワードなど重要なキーワードほど文中では前方で使用しましょう。

##### 3

##### ページの内容を適切に表現しましょう

- ページ上で重要なキーワードを含める
- 「ページ1」や「株式会社〇〇」(社名のみ)のようなページ内容を表現していないタイトルにしない

##### 2

##### 下層ページにも個別のタイトルをつけましょう

それぞれのページ内容を適切に表現したタイトルをすべての下層ページにつけましょう。

##### 4

##### 変更後は安易に変えてはいけません

タイトルはそのページにおいて特に重要視される部分です。今まで特定のキーワードでのアクセスを見始めたものが、タイトル変更によりヒットしなくなる可能性があります。

# 2

## ディスクリプションを入力する

ページ概要を表す項目をディスクリプション(description)と言います。

ページ内容を端的にまとめ、タイトル同様重要キーワードを含んだ文章を入れましょう。

### ディスクリプションってどこ？

インターネット検索結果において、タイトルの下に数行の文章で表示される部分。(※必ずとは限りません)

ユーザーが検索時にクリックする指標となる、とても重要な項目です。

なるべく100文字程度におさめ、ページごとに文章を変えましょう。



Hint!

検索キーワードは太字として表示されるため、クリック率に影響を与えると考えられます。ページ内の重要なキーワードをしっかり入れて、ユーザーの興味を引く文章を書くことを心がけましょう。

### 3

## キーワード率を適切にする

主要キーワードを適度に含め、使いすぎに注意。下層ページのキーワード率も忘れずにチューニングする事。



検索ロボットは検索の順位をタイトルだけで決めるわけではありません。本文中に含まれるキーワードの使用頻度もチェックし、タイトルに合ったページかどうかきちんと見極めます。



ユーザーの目で見た  
サイト



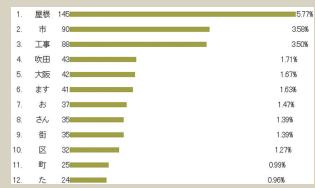
ロボットの目で見た  
サイト

検索順位を決めている検索ロボットは写真を見ることができません。テキストや画像の代替テキストなどの文字情報を確認し、サイトの内容を把握しています。検索ロボットにサイトの内容を正しく把握してもらうためには、重要なキーワードを適切な比率で使用することが大切です。

### 無料キーワード解析ツールを活用しよう！

検索ロボットは本文中に使用されているキーワードを元にサイトの内容を確認しています。タイトルだけではなく本文中にも重要なキーワードを入れましょう。連呼や使いすぎには注意しましょう。

**キーワード出現頻度解析ツール** ▶ <http://www.searchengineoptimization.jp/keyword-density-analyzer-zero>



### 4

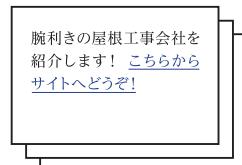
## 優良な被リンクを増やす

リンクが多いサイト=人気の高いサイトだと判断されます。

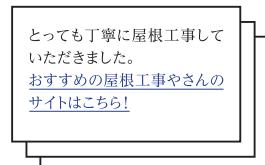
### 被リンクって？

誰かのサイトやブログから自分のサイトに対してリンクを貼ってもらうことを被リンクと言います。サイトコンテンツや自社のサービスを充実させ、被リンクをしてもらえるサイトを目指しましょう！

### 建築会社A社のサイト



### Bさん家族のブログ



### 被リンクの落とし穴に注意！

被リンクが多いサイト=人気のあるサイトというGoogleのルールを悪用し、「被リンク売ります！たくさん買って上位表示しませんか？」というSEO業者さんがいます。もちろんお金で被リンクを購入するような行為は禁止されています。



Webmaster Central blogより引用  
良質なサイトをより高く評価するために

2012年4月25日曜日 | 10:15

※ウェブスパム…検索エンジンをだますために被リンクを購入するような悪質サイト

※ホワイトハットSEO…Googleのルールに則ったSEO

そこで今回Googleは、ウェブスパムをターゲットにした重要な変更を検索アルゴリズムに施しました。これまで良質なサイトを適切に評価するために様々なアルゴリズムの変更を実施してきましたが、今回の変更では、Googleの品質に関するガイドラインに違反しているサイトについて、その掲載順位を下げるような対策を実施します。このアルゴリズムの変更は、ウェブスパムを削減し、良質なコンテンツを促進するための私たちの新たな試みです。変更の詳細を明かすことは、抜け道をくぐり抜けたサイトが検索結果にあふれ検索ユーザーの利便性を損なう可能性があるためできませんが、ウェブマスターのみなさんにお伝えしたいことは、ユーザーにとって利便性の高い良質なサイトを作ること（英語）に専念し、ウェブスパムを駆使することなく「ホワイトハット」SEOを心がけてください、ということです。

この変更によって影響を受けるサイトは、あからさまなスパムばかりではありませんが、共通して言えるのは、検索結果の掲載順位を人為的に操作するためにホワイトハットSEOを逸脱したSEOを行っているということです。

### 【次世代型SEOサービス順次提供開始!!】

AUOサービスとは「Access Up Optimization」の略で、これまでの個別のキーワードを狙ったSEO対策ではなくシステム上に存在する全ての有効キーワードを底上げするロングテール集客に最適化された対策方法です。「アクセス数の底上げにダイレクトに働く」次世代型のSEOサービスです。



## 5

## ページ数(インデックス数)を増やす

Googleが上位表示させたいと思うウェブサイトは言うまでもなくユーザーにとって有益なサイトです。ページ数を増やし、コンテンツを充実させることはユーザーや検索エンジンに好まれるのはもちろんですが、コンテンツに含まれる様々なキーワードからの流入を見込み、アクセスアップを図る上で非常に有効となります。

## 皆さんならどうですか？

数あるサイトの中から「ここに決めた！」と気持ちが動くには、自分に興味のある記事が多数紹介されている、知りたい内容が親切に書かれているといったようにコンテンツが充実していることが大切なではないでしょうか？



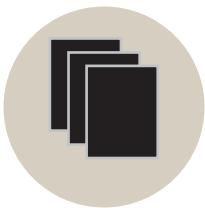
## ユーザーの立場になって考えよう



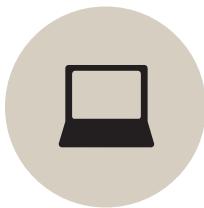
ユーザーは自分の興味を「キーワード」にして、インターネット検索をします。もしあなたが家具屋さんなら、ソファ、テーブル、ベッドなどあらゆるキーワードでユーザーのアクセスを獲得したいと考えますよね。そのためにはソファのページ、テーブルのページ、ベッドのページなどキーワードに対応したページが必要となります。

ページ数を増やせば、その分ユーザーが使用するキーワードを広い範囲でカバーでき、ユーザーを誘導するための流入キーワード・ランディングページが増えます。結果アクセスを爆発的に増やすことができます。

## ページ数を増やす



## 流入キーワード・ランディングページが増える



## アクセスが増える



どれだけページ数を増やしても、同じキーワードばかり使っていてはアクセスアップは望めません。(同一地域・同一工事のページばかりを量産しても効果はありません。)表現を変える、あえて専門的な用語を使用する、共起語を用いるなどキーワードにバリエーションを持たせましょう。